

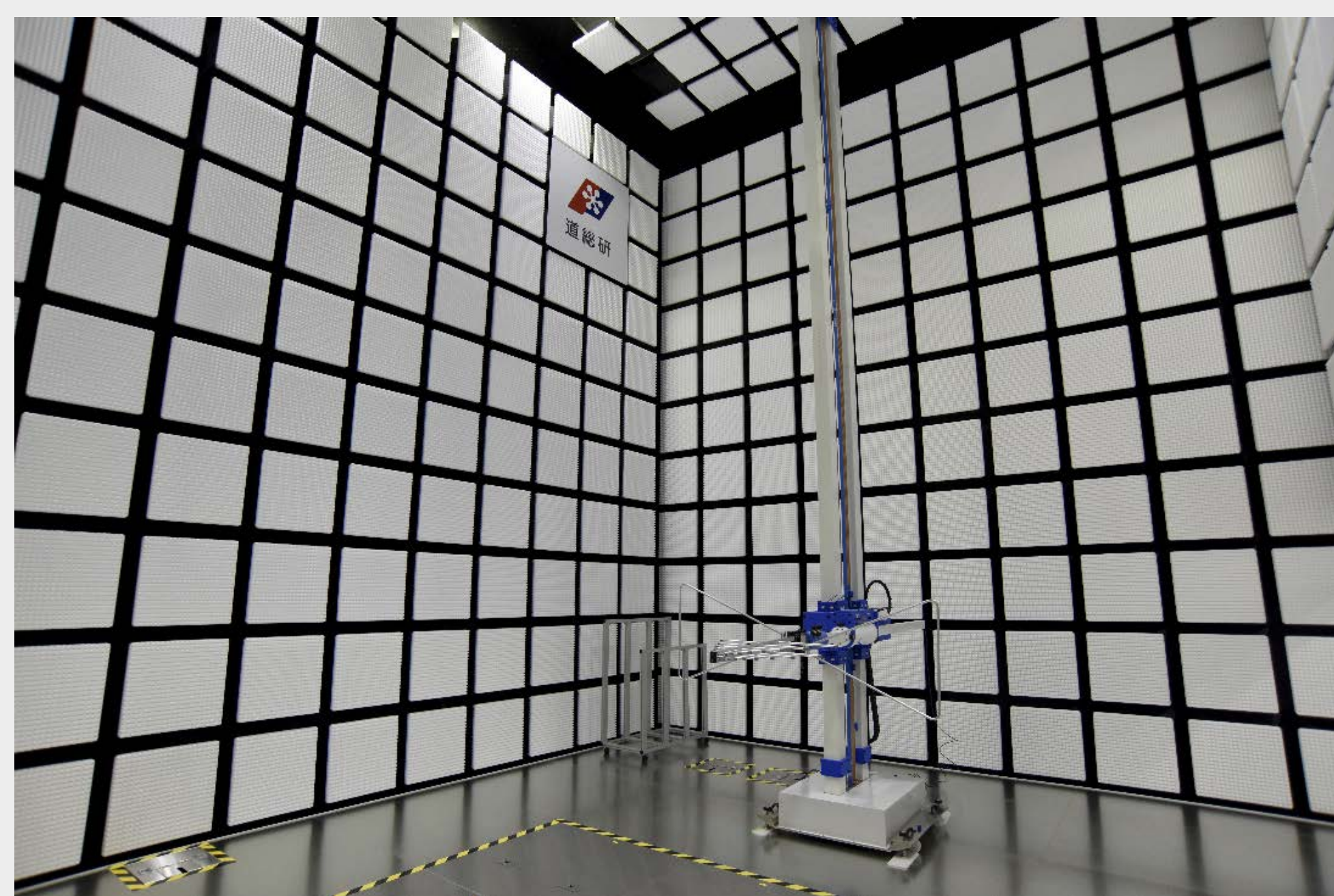
工業試験場に、新たな施設

「MONOLABO」が誕生！

2019.3.12 OPEN

道総研工業試験場では、道内企業が取り組む北海道の積雪寒冷な環境に対応するIoT関連製品等に係る新製品・新技術の創出を促進するため、国内新規格対応の電波暗室やシールドルーム、JIS規格の試験が可能な防水試験室を完備した「寒冷地ものづくりラボ（MONOLABO）」を整備し、平成31年4月から供用を開始します。

電波暗室・シールドルーム



3m法 規格対応、VCCI認定取得予定
電磁ノイズ耐性試験、静電気、BCI、雷サージ等



低温試験室



+5℃～-20℃
-5℃～-30℃

防水試験室



JISC0920に対応

【寒冷地ものづくりラボの概要】

- » 事業費 約5億48百万円（うち地方創生拠点整備交付金2億74百万円）
（モノラボ建設(新築) 4億62百万円、モノラボ機器整備 37百万円、低温実験室(改修) 49百万円）
- » 施設規模 鉄筋コンクリート平屋建 約380㎡（延べ床面積）
- » 主な機能 電波暗室（3m法対応）、シールドルーム（2室）、防水試験室（JISC0920対応）、低温試験室（2室、工業試験場本棟を改修）

お問い合わせ
ご相談

（地独）北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター
〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目 電話：011-747-2354（直通）

MONOLABOの概要（導入機器等の紹介）

【設備名】 電波暗室 ・ シールドルーム（２部屋）

【特 徴】 国際基準CISPR16を満たす道内初の3m法電波暗室
VCCIなどの国内外の主要なEMC規格に対応
車載機器のノイズ評価(国際規格準拠)が可能。

【用 途】 機器の電磁ノイズ発生量や耐性を評価。
静電気、BCI(ハーネス)、雷サージ等の電磁ノイズ
の評価。

【設備名】 防水試験室

【特 徴】 道内初JIS規格(JISC0920)に対応。
製品に対し、あらゆる方向からの暴噴水(100ℓ／分)
でも防水(保護)されているかの評価が可能。

【用 途】 風雨にさらされる電子部品や、水を使う食品加工機械
などの 防水性を評価。

【設備名】 低温試験室（２部屋）

【特 徴】 低温環境下で機器動作が試験できる道内公設試験研究
機関で唯一の施設。
間口が広く(150cm)、大型の試験対象物にも対応可能。
2種類（+5～-20℃、-5～-30℃）

【用 途】 製品の低温下での機器動作試験や、材料の衝撃、損傷
試験や状態変化観察等が実施可能。

